

樽ヶ橋エリア活性化検討委員会

南波課長

それでは定刻になりましたので、皆さんおはようございます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

ただいまから樽ヶ橋エリア活性化検討委員会を開催いたします。

私、胎内市商工観光課の南波と申します。よろしく願いいたします。

初めに本日の開会にあたりまして当委員会の会長でございます高橋副市長からご挨拶を申し上げます。

会長よろしく願いいたします。

高橋会長

はい。年度末の大変お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。また、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大がありますけどその中でもこうしてお集まりいただきまして、ありがとうございます。本日につきましては樽ヶ橋エリアの活性化検討委員会になりますが、胎内市にとって樽ヶ橋エリアは観光のスタートライン、原点がやっぱりここにあるのだらうなというふうに考えております。

古くから藤が有名であったり、今の橋ではないですが前の橋が観光地として有名でスタートしたという歴史がございます。3年前から辺地債を使った中で、色々なリニューアルを重ねてきています。最初は大型遊具、その次にたるをはじめとする屋内休憩施設だとか、令和3年度までに整備を完了するという風に計画しているところでございます。

観光の原点ということではありますが、これを起点としてその奥にありますロイヤルや胎内エリアなどの観光の活性化も含めた中で一緒に連動したなかでやっていければと考えております。

本日は第2次の樽ヶ橋エリア活性化基本計画進捗状況の考察ということになりますので、皆様方の活発なご意見をいただきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

南波課長

はい。ありがとうございます。議題に入ります前に黒川地区振興協議会解散に伴いまして、黒川地区区長会様からご推薦いただいております、その2名の方に委嘱状を交付いたします。副市長からお願いいたします。

坂上良夫さま、羽田誠さまに委嘱状交付。

南波課長

ありがとうございました。議事に先立ちましてお手元の資料の確認をお願いいたします。

まずは次第でございます。そして名簿でございます。そのほかに資料の1、2、3、になります。皆さま大丈夫だったでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは次第に沿って議題に移らせていただきます。

議題の進行につきましては会長をお願いしたいと思っております。高橋会長お願いいたします。

高橋会長

はい、それではここから私が進行したいと思います。それでは議題の(1)になります。

第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画実施計画の進捗状況について事務局から説明をお願いいたします。

## 坂上事務局

はい。事務局商工観光課の坂上と申します。よろしくお願ひいたします。

平成31年度の進捗状況のほうを説明させていただきます。資料の①1ページ目が施設ごとの入込客数ということで1-1. この第2次計画の5年間の当初の目標値が記載されております。目標値に対して平成31年度、令和元年度の現状値ということで1-2に数字が記載されております。

各施設ごとに目標値に対して現状値が何人だったということで、2月末時点での見込み値ではございますが一覧にさせていただきます。

樽ヶ橋遊園ですとか、美術館、楕形のハイキングなどが目標値を達成した数字になっておりますが、クアハウスやその他の施設では目標に届かなかったという結果でございました。

エリア全体の中では目標値に対して99%という達成率でした。

このことについて次のページでございますが、評価分析ということでちょっと読ませていただきます。

樽ヶ橋エリア全体の入込数は平成31年度の目標値が254,400人に対して現状値251,910人。達成率が99%となっており目標をほぼ達成した。主な要因は10連休となったゴールデンウィークの入込が各施設とも順調であったことと、今年度記録的な暖冬によって冬季間も入込数が減らなかったことが要因と考えられます。

好調だった施設は樽ヶ橋遊園と胎内市美術館があげられます。樽ヶ橋遊園においては今年度新設された休憩所たるるの稼働が順調で、新しくなったトイレや多目的に使える芝生広場などがお客様から好評を得ております。

こういった多目的に使える屋内スペース、屋根付きのエリアができたことで新たなイベントなどの開催も可能となり、令和2年度以降の改修計画とあわせて更なる入込客数の増加が期待できると考えております。胎内市美術館においては、四季を通じて来館者を飽きさせない様々な展示会やイベントが企画され順調に入込数が増加しております。

一方で減少傾向にあった、クアハウス等ではございますが、クアハウスにおいては高齢化による会員数の減少や新規会員の伸び悩みにより目標値を大きく下回る傾向が続いており、新規会員の獲得に向けた取り組みを重点に置きエリア全体でもサポートできる体制を取り組んでいかなければならないと思っております。

里山食堂においては、来年度から新しい指定管理者による運営が始まることで樽ヶ橋エリアの新しい食事処として期待するとともに、エリア施設間でもサポートと協力関係を築いて誘客をつなげていく必要がございます。

続きまして3ページ4ページ目のほうが、基本施策の進捗状況という事で、この計画の中で基本施策のほうが①~④まで4本だてになっておりますが、基本施策①については、観光の交流、情報の拠点としてのまちづくりの推進となっております。評価、課題として○△×とさせていただきました。

○の評価としては、胎内市観光協会のカメラ女子によるSNSでの情報発信のほかに、新たなツールとして今年度からFMラジオで情報発信を進めておりまして、市内のイベントや商店街などゲストとの対談方式で情報発信をしております。多くのリスナーに魅力を伝える手法として今後も期待されます。

△の評価といたしましては、観光協会が主体となり専門知識を有するディレクターとして伴走型のサポーターの導入を検討いたしました。令和2年度より配置をするための準備を進めております。

次に基本施策の②でございまして、こちらの評価としては○の評価として、樽ヶ橋エリアの資源を活用して魅力を発信するためのさまざまなイベントなどが今年行われました。

次の○の評価としては、樽ヶ橋エリア施設間の連絡会議が、各施設の代表が集まって月1回定例会を行っておりますが、そのなかで新しいイベントなどのアイデア出しなどを行いまして、樽ヶ橋遊園ではカブトムシハ

ウスですとか七夕のイベント。あと、冬にもイベントを企画するなど集客力の向上につながったと考えております。

今後も他の施設も含めて、エリア全体で集客力の向上に取り組んでいきたいと思っております。

次の〇の評価としては、観光ビジョンによる連携の取組みにより樽ヶ橋エリアのほか、市内各地各施設と連携しつつ、春夏シーズン、春秋シーズンを軸に企画等を展開いたしました。

次の基本施策③でございます。こちらはエリアの訪問者の満足度の向上のための人材育成ということで、評価△ですが、今年度においてはガイドの方々と共に樽ヶ橋の散策ですとか、ツリーイング体験。樽ヶ橋遊園の冬イベントのプログラムを実施し入込数の増加に一定程度の影響がありました。プログラム等を実施してガイドの新たな活躍の場を設けられたものの、エリアを訪れる観光客の満足度の向上を図るためのガイドの方のスキルアップや体感的に学ぶ学習会などの開催はできておらず、来年以降の課題としてガイドの人材育成に向けた取り組みを検討していきたいという事です。

次に基本施策の④。こちらは辺地事業債を活用したエリアの整備でございます。こちらは〇の評価としまして、平成31年度につきましては樽ヶ橋遊園の工事のみ予定されておりました、北側工区改修工事ということで実施されました。内容としては、資料1の1番後ろのカラー刷りでございます。赤で囲ってあるエリア全体の改修という事で、古くなった水路の改修。常時流れるような水路が整備されました。

藤棚の改修という事で、老朽化している床や柱の補強や修繕などの改修を行いました。

新しいエリア、今までゴーカートの広場をいろいろテラスという名前にして幼児向けの遊具を揃えました。

あと、ゴーカートを待っているお客様の東屋の設置も行いました。

失礼しました。4ページの基本施策④の辺地評価のところ修正がございます。1行目北側工区⇒南側工区の改修でございました。1番最後のページ右下 たるる⇒るが欠けていました。

5ページ以降の各施設ごとの具体的な展開策といたしましては、各施設から今年度の取り組みを分析評価いたしまして令和2年度以降どのような活動方針でやっていくかという事で一覧になっております。こちらすべて説明しますと時間がかかるので省略させていただきます。

13ページ目でございます。

こちらが先ほどの辺地債の内容でございますけども、平成31年度、令和元年度樽ヶ橋遊園の南側工区の改修工事が予定されておりました、予定通り実施されております。

その参考として裏のカラー刷りの内容です。以上で簡単ではありますが、今年度の進捗状況という事で説明させていただきました。

**高橋会長**

ただいま事務局から令和元年度の進捗につきまして説明いただきましたが、皆様から質問、ご意見ございませんでしょうか。はい、羽田野委員。

**羽田野委員**

クアハウスの関連でエリア全体でサポートできる体制にしていかなければならないとか、それからその下のほうに施設間のサポート共有関係を築く、そしてエリア全体の誘客につなげる、その辺。

それからとなりの3ページのディレクターの前段で伴走型のサポーターの導入を検討、令和2年度に向けて準備するというこの辺との関連で、あのエリアー帯は道の駅に指定されている特徴があるわけですが、施設によっては担当課が違ったりでなかなか具体的な運営が弱いという指摘が今まであったと思います。新しい観光振興ビジョンではディレクターがカギになるかのように、組まれていたという風に私は理解していたのですが、ディレクターの前段として今回サポーターの導入検討をするという事で、前回の議会でもそのことの説明はあったのですが、今朝の日報を見るとサポーターというのは一人だという風になっていま

した。私自身は既に動いているMURASOBIなどを支えている人たちがサポーターというものなのかと勝手に認識していましたが。一人ということでだいぶ理解が違っていたと思います。その辺のところを少しお答えをお願いしたいと思います。

それと従来の施設間で月1回情報交換しているというお話がありましたが、そういった部分がどう変わっていくのかその辺をご紹介いただければと思います。

**高橋会長**

はい。今2点ご質問がありました。サポーターとは具体的にどのような形で配置してどのような仕事をしていくのかと。もう1点は施設間の連携というのが前々から課題として挙がっていて、その解決策として月1回の会議ということだが、その状況とこれからについて事務局のほうで回答をお願いいたします。

**南波課長**

はい。まずはサポーターからお話をさせていただきます。羽田野委員からもお話がありましたように、観光振興ビジョンでは観光ディレクターが目玉と申しますか樹になるところと考えておりました。

知識、経験のある外部の方を登用するようなかたちでお招きして、さまざま関係する皆様の力を借りながら引っ張っていくというようなところを期待しながら、その配置をできるように様々な企業だとかそういったところにあたっていました。それがなかなか叶わないというか難しいところもありまして、であるならばということではないですが、実際ディレクターが来た時に受け入れ態勢の問題だとかそういったところも昨年度ディレクターの話をしている時にもあったのですが、まず関係する皆様の引っ張っていくというよりも一緒になって観光振興をやっていくような方をまず導入できたらという様なことで観光サポーターの導入に至っております。羽田野委員からもお話がありました、今それを支えている皆様がサポーターだと思っていっちゃったというお話ですが、基本的には1人の人間がそれを担うという事になりますけれども、そこは当然ながら関係者の皆様をつないでそしてさらに方向を決めたいうえでそれに向かっていくことになりますけれども、それはつなぎながら一緒にやっていく人となりますので、おっしゃるようにサポーターは一人なんです、それを支えてくださる皆様方は位置づけとしてはサポーターではないのですが、これまで以上に連携をさせていただいてやっていかなくはという風に考えてはございます。一人で役割としてはそういう、これまで以上に連携をするような、つなぐ役割という風に考えてございます。

サポーターに関してはそのような感じでよろしいでしょうかね。

あとは連携を今後どうしていくかというところで、月1回の会議、これは今後もやらせていただくとして、おっしゃるようにそれは情報共有というところでは機能してきたものという風には評価しておりますが、さらにエリアとしてどのように推進していくかという所までは果たせていないのかなと考えておりますので、そこはご意見を聞きながらいい方向でという一辺倒な話になってしまいますが、樽ヶ橋遊園も工事が令和2年度でだいたい良いところ終わりますので、工事を進めてきただけではダメでして、樽ヶ橋遊園自体もどのように運営していくか、そしてそこだけ人がくればいって話だけでは当然ございませんので、そこを核としてエリア全体で盛り上げる。そして冒頭副市長からお話がありましたように、この地を胎内市の観光の原点、スタートラインというところでどのようにそこをまた結び付けられるかというのはまだ決まっていないのですが、もうちょっと強化したいと、そのためにもまたご意見をいただきながらと考えておりますが、今お話しできるのはそれぐらいかなというふうに考えてございます。

**高橋会長**

羽田野委員、それでよろしいでしょうか。

**羽田野委員**

もう少し具体化してほしいという希望はありますけれども。

#### 高橋会長

他いかがでしょうか。はい、石山委員お願いします。

#### 石山委員

今とちょっと関連したお話ですけど、それぞれのポジションの中でいろんな立場の中でいろいろな面で樽ヶ橋の活性という事で取り組んできた方々がいるわけですが、その方々のこれまで積んだ経験だとかいろんな見方をもう少し強固に、組織として全体、胎内市の中のさらにレベルアップした形を作り上げようってことで今回ディレクターだとかそういうものを新たに整備するとかという風な形という事はさらに活性化させようという推進役なのです。いま羽田野さんの話のちょっと説明がはっきりわからなかったんですけど。そういった方々のさらに技術だとか経験豊かな方が指導されることがディレクターの仕事であって、それは推進力じゃなくて引っ張っていってくれるような形が私はそういう役目の人が選任されるかなっていう風に私は考えていたのですけれども。それには、その方に情報をやるなかでこれまで経験してきたそれぞれの立場の方がいろんな問題点とかを洗い出してそして一つの会議の中に提示してそういったもののマイナス点なんかをさらに良好な形に持っていくための意見集約、あるいは将来的に方法を練りこんだ指導的役割の方っていう風に理解していたのですけど。

そういう意味での専門知識を有するディレクター、まあそういう方だと理解しているのですがちょっと違うのでしょうか。

#### 高橋会長

ディレクターの役割というか、どういう方をディレクターとするか。今回はディレクターを選任できなかったので、令和2年度には伴走型のサポーターというような形で。ディレクターがもし選任できるとすれば、今まで一緒にやってこられた例えばゆるゆる隊などの皆様とディレクターにつなぐというようなことが必要だのご意見として言っていたいたわけですが、ディレクターが選任できるとしてどういう形で。

#### 南波課長

おっしゃる通り、様々な観光に携わっていただいている皆様の意見をいただいたり、そういったところをつなぐ役割もありまして、当然それも期待はしておりました。もちろんそれだけではないくらいのことを期待してディレクターというものを考えていたのですけれども、よく言われるのがDMOという話。皆さんもDMOとかお聞きになっていると思うのですが、胎内市としてDMOという組織を作ろうという所まではいっておりませんし、組織自体が必要とも考えてないのですけれども、そういった組織としてのDMOではないがそれと同じような役割。胎内市全体としてDMOみたいな観光を商売としてやっていけるような、それを推進していく。観光に携わる人たちと連携する、情報も集める、そしておっしゃる通り指導する。施設がもっと良くなるというよりも、もっと観光が産業として成り立つくらいのところまで持っていけたらと考えておりました。平川会長いかがでしょうか。

#### 平川委員

観光協会の平川と申します。お願いをしました。そういう方を入れてほしいと。これなぜかという、胎内市は頑張っておられる方がいっぱいいるんですね。個々に。ですが、トータル的に全体を見ようという方がなかなかいない。われわれ観光協会も専門ではないのでできない。ほかのエリアを見ますと、課長のほうからDMO、マネジメントとマーケティングこれが観光すごく大事だと言われているが、我々は知識ないのです。できないんです。自分たちのお店とか何とかの宣伝はできるけども、じゃあそれをトータルで見て胎内市の全部の観光を見て、じゃあできるかっていうとできないのです。マーケティングもできない。マネージングもできない。できればそういう方を1年でも2年でもいいから入れていただいて、今観光を個別に頑張っている方と一緒に勉強して、自分たちも上がりましょうと。その人にずっと任せるのではなく、そう

いう希望を出していましたがなかなかコスト的に難しいらしいですね。なかなか人も難しい。本当にいるのかどうか。ほかの地域にはいるんですね。でもコストがすごい。今回もできないので、その前にサポーター。われわれとしてはそれを望んでいます。実際問題。コストの面とかなかなかすぐには入れられないので、なんとか自分たちでできる範囲で勉強していこうかなと思っております。

#### 石山委員

これからあれですね、それぞれそのポジションで一生懸命エンジンかけて待って、最大にエネルギーを蓄えて、よし、さてどっちいくんだらうって感じで。だからそれぞれのポジションの中で今いろんなところを見ながら、自分たちのマイナス面をさぐりながら、あるいはプラス面はよそから情報を仕入れて、まずは核づくり、コアづくりをしてそれを集約して行って、じゃあこっちの方向に進もうかっていうときにこういうアドバイザーが必要なんだと思います。

その方は、まったくわれわれの会議の時に話している方ではなくて、見方が違う方。世界的に見てる方、国内でももっと今までの先進的な成功例を見ている方、苦しんできた方こそ素晴らしい方だと思うんですけども、そういった面でお力添え頂ければ、さらにここにいい意味での起爆剤、発展するような気はする。みんなそれぞれ頑張っているし樽ヶ橋のあそこも私もちょっとお手伝いしているんですけども、何か光が、今までと違う光が差してきたような感じがしたんですよ。だから遊園地っていうのではなくても高齢者の方も施設を上手に回り歩いたり、子供や老人、年代の幅を広げたそういう風な施設づくり。自然の中ですから、それと絡んで道の駅の発展。なんか違うなって感じでいつも作業させてもらっています。

#### 高橋会長

ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

#### 羽田委員

一ついいですか、私初めてなのでわからないのですが、1ページ目の1-2シンクルトン記念公園の達成率が非常に低いのはどうしてか、またコマーシャルの使い方が悪いのかそのへんはどういうあれでしょうか。

#### 南波課長

右側に主な理由がございまして、通年開館をやめて予約制。前は通年開けていたが、今は予約がないと入れない。前もロイヤル胎内パークホテルに泊まった団体のお客様が行きたいという話でしたが予約してなかったために入れなかった。そういったこともありまして、ちょっとそういう機会を失ったのかなっていうのがあります。それがすべてかどうかはわかりませんが、主な読みとしてはそうだと。

#### 羽田委員

トータルの考えると非常にパーセンテージが低いですし、火野正平さんが全国を回ってあの時はハイテンションになってそういうのもあったのになあっていう、最近また下火になったような感じなんですよ。

#### 南波課長

何かできればと。私も個人的には見ていただくだけではなくて、体験のプログラムみたいなもの、今一生懸命やっております、そういったところで何かご案内するようなものとか。他にはない施設だなという風に考えておりましたのでそこを何か違った形で展開できればなという風には。施設自体をどうこうすることはできないが、そこに集まっていただけのような、また別な方法ができたらなという風には考えたいと思っております。

#### 高橋会長

他いかがでしょうか。はい、羽田野委員お願いします。

#### 羽田野委員

ボランティアガイド5ページ見ると2年続けて効果（達成度）が×となっている。

私自身も観光ボランティアガイドの研修が始まったときは、ちゃんと勉強させてもらいましたが途中でやめてしてしまったけど、観光ボランティアガイドとして勉強された方はそれなりにできる方々ですし、せっかくそういうものが胎内市にできたのにこれではダメなんだと思います。

原因と改善策を検討していきたいという事なのですけれども具体的な考え方があれば紹介していただきたい。

**高橋会長**

ボランティアガイドの評価がなかなか上がってこない原因と改善などの対応があれば。

**南波課長**

はい。おっしゃいます通り、昨年、今年とガイドさん個々で実際やってもらっておりますし、いろんな体験プログラムをお願いしたりして活動はよくやっていただいておりますが、市が関わって研修会をやってみたり、組織ではないがどういう方向で行くかというのが2年間進んでいなかったというか、できなかった所がございます。

今後どうするかという所で、2年位前というふうに私も聞いておまして、組織体全体として観光ボランティアガイドさんたちのどのように一つになってやっていくとか、あとは皆さまがそれぞれの場で活躍したいとかご意見がさまざまあったとお聞きしておまして、そこでなかなか方向性を決められなかったと聞いております。そういったことがございまして、次ここどうするかというところで踏み出せなかったのが正直ございまして。

来年度はそうも言われてられない所がございまして、研修会なのか視察ではないが、他のところにスキルアップにつながるようなことはやっていきたいと考えております。あと方向性もできればどういう形がいいのかというのはなかなか決められませんが、そこは相談していけたらと考えてございますので、個々でやっていただいているという状態なのはもう少しどうにかしたいという風には考えております。

今考えているのはそこまでなんですけれども。

**高橋会長**

個々のボランティアガイドさんそのものについては、かなり高いレベルでご活動いただいているんだけれども、市としてそれを結び付けるだとか方向性を出していくというのができていないので評価があげられないというような観点ですね。

**南波課長**

そうなんです。ガイドさんは活動、活躍していただいているんですが、市から見ると私たちが関与して認められるような状態ではなかったという風に評価しました。市とボランティアガイドさん個々にはやりとりは行っていましたが、正式ルートみたいな形ではなかったなという風に考えておりました。

**高橋委員**

他にないようですので（1）の進捗状況につきましては以上で閉じさせていただきまして、（2）その他でございまして、羽田野委員のほうから提案という事で皆さんにお話がありますのでよろしく願いいたします。

**羽田野委員**

お手元にお配りいただいた資料をご覧いただきたいと思うのですが、昨日、樽ヶ橋ボランティア活動ゆるゆる隊の臨時定例会で皆さんに説明しました。提案の趣旨ですが、樽ヶ橋エリアそのものが道の駅なんですけど、このことについてはなかなか理解されていない。私もこういった委員会に参加させてもらってかなりなんですけれども、なかなかこういった理解がされていないという事で何度も話題にしながら市のほうの

努力もあって、今は地図、観光案内とかは以前のものとトンがり屋根だけが道の駅という表示があったんですが今はほとんどエリア全体が道の駅ですよとそういう案内が徹底されていて、そういった意味では認知されつつある。ただ、昨日集まったゆるゆる隊の皆様でもあのトンがり屋根の建物だけが道の駅だと思っていたという声結構あがりまして、まだまだ不十分だなという事を改めて痛感しました。一般的に道の駅というと、直売所と飲食スペース、トイレ、交通案内があるのが普通ですが、道の駅胎内の場合はエリア全体ですから、多様な施設なり観光スポットで成り立っているわけですね。だからそういう魅力を、あのエリア全体が道の駅だっという認識を、おそらく全国的にもまれなケースだと思うのでその魅力を端的に表現できるようなキャッチコピーを考えてあのエリアをアピールできないかと考えたわけです。私なりに少し考えただけではお粗末なレベルでして「癒しと学びの道の駅」ですとか「観光スポットもりだくさん道の駅」とかそういうことしか浮かばないので、また、東屋の名称を募集した時にも私は「なんとか東屋」という提案しかできなかったの、「たるる」のように広く募集すればいいのでは。道の駅の魅力を表現するようなキャッチコピーを募集すれば意外といいアイデアが出てくるのではないかとぜひ検討していただけないかと。

そういう事と並行して、私はゆるゆる隊のなかでも提案されてきたこととしてエリアの共通券とかそれから河川公園向かいの竹林周辺を整備出来ないかとか、最近ではトキの分散飼育とか、そんな話題も会の中であがっておりますので、何らかの形でできればいいなと思っております。

メインは道の駅胎内のキャッチコピーを作れないかというお話をしてみたかったですけどよろしく願います。

#### 高橋会長

はい、ありがとうございます。キャッチコピーそのものを募集したりすることについては特にお金がかかることではないので、ぜひ検討させていただいてですね、いいものができればと思います。

ちなみに最後のところでも履修回路というようなこととお話がありますが、大変皆様長らくお待たせしていたのですが、いわゆるへつり線ですね。連休前には地域整備課のほうで整備をして開通するという計画でございます。それこそ先ほど話していた火野正平が開いていないのに通ったんですけども。そこから今度道路につないで橋わたって下の竹林のところずっと来られればそんな遊歩道ができれば素敵なんだろうなという気がします。その辺も今後の課題として検討していただきたいと思います。

竹林を整備するのは手間がかかるが、へつり線を行って帰るのであれば特段何もなくともできるかなという所です。今のキャッチコピー等のお話についてはよろしいでしょうか。大変結構な事だという様な事でよろしいでしょうか。

#### 石山委員

一言だけよろしいでしょうか。竹林のほうですが、道の駅ができたと 緑で覆われほとんどわからないですね。昔あった樽ヶ橋どのへんですかって 藪でほとんど見えません。胎内川はさんで私が子供のころも樽ヶ橋によく連れて行ってもらった。

今公園になっていて芝がある。その対岸ってのは見る人から見ると竹林で、なんだろうねあそこ藪だよねみたいな、あそこに実は橋があって前のほうにお家があって、そして旅館があって坂があってバスが通った、とってもいいところなんです。

#### 羽田委員

急こう配でしたよね沢が。子供でもやっと上がられるような。

#### 石山委員

あそこのところを実際に歩いてみたんです。ここ刈るとどうなんだろう。ゆるゆる隊の会長さんと。



あそこの竹林を降りていきますと眺めるとちょうど西側に赤い樽ヶ橋の今の橋、水が止まると水が反射して移るんです。まったく対照的なんです。今まで上から見てる道の駅の景観とはまた違ったカラーがあそこに映し出される。そうしますと行く道筋が行き止まりなんですね。回ってくると小さな巡回はできますが道の駅から向こうにわたるってことがないですから、そこに夢ですけれども、小さな橋でも掛けたら回れるようになる。反対から見る目っていうのもまた面白さがある、また下から上を眺めるっていうのは松がきれいで橋が映えて、特に西日が差すと結構きれいなんです。

そういったのをお客様が来られるときに、あそこ行ったらどうですか、いいですよって言えるような。ましてや川は落ち着きがある。自然のものを活用してものを見ていくっていうのも、これはなごみなんで、ぜひそう言ったこともどうかと皆さんで。そういう意味で竹林カットできるものならちょっと涼しげにしたらどうだろう。こういうアイデアです。

河川は確か県のものでしたよね。

**高橋会長**

県道のすぐ脇のところに細長い胎内市の土地があるというのは聞いたことがある。竹林まで下がったときにどこの土地なのか調べてみないとわからない。県だとか市だとかの公のもであれば間伐ぐらいはね。

**石山委員**

間伐の程度で、百聞は一見なんでもまた時間あったら見てほしいです。

**高橋会長**

旧きすぎ保育園のあの建物自体も胎内市が購入しておりますので、それとの連携とかも考えられるのではないかと考えられます。

はい、他いかがでしょうか。事務局からその他はありますか。

**南波課長**

一つございます。昨年度ほかの2つの委員会を閉じて1つの委員会にするという事で、この委員会も閉じたらどうだというお話があったのですが任期がもう一年あるという事で、できましたらもう1年お願いをして、そこで発展的解消になるのかその後のところはまた考えさせていただきたいという事で、もう1年お付き合いいただきたいという風に考えてございますがいかがでしょうか。

**高橋会長**

令和3年の3月31日まで、令和2年度いっぱい任期があるのでという事で、そのなかで今後の在り方についても検討していただきたいという事でよろしくお願いいたします。

それでは議題以上でございますので、進行のほうを事務局にお返しいたします。

**南波課長**

それではこれをもちまして樽ヶ橋エリア活性化検討委員会を結びといたします。最後に会長より一言お願いいたします。

**高橋会長**

皆さんお忙しい中、本当にありがとうございました。活発なご意見をいただきました。

事務局、市として検討しなければならないこといくつか出てきましたし、その中でも観光協会さん、そのほかの団体の皆様と連携しながら今後も進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

**南波課長**

それではこれにて閉会いたします。皆様どうもありがとうございました。